

2026年2月の東京都食中毒発生状況（速報値） 2月28日現在

2026年2月の食中毒速報値が東京都から発表されましたのでご紹介します。

2月28日までに報告がされた食中毒は、発生件数4件、患者数は45名でした。

なお、1月の発生状況は速報値で報告のあった件数は5件、患者数は91名でしたが、2月末の時点ではそれぞれ15件、286名という結果で、件数、患者数共に大幅に増加しました。

1 事件数（2月までの累計）

19件（2025年同期38件、2024年同期34件、最近10年間の同期23件）

2 患者数（2月までの累計）

331名（2025年同期480名、2024年同845名、最近10年間の同期432名）

3 死者数（2月までの累計）

0名（2024年同期 0名）

4 月別食中毒発生状況

（1）2026年月別発生状況（速報値）

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	15	4											19
患者数	286	45											331

（2）2025年月別発生状況（速報値）

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
件数	12	26	13	14	10	11	14	7	5	5	5	12	134
患者数	84	396	102	251	53	54	101	28	18	46	95	80	1,308

（3）2024年月別発生状況（確定値）

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
件数	19	15	12	10	8	7	10	5	7	8	4	9	114
患者数	628	217	95	51	86	32	144	34	22	123	32	72	1,536

（4）最近10年間の月別発生状況（2024年までの平均値）（速報値）

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
件数	10.0	13.1	13.2	10.5	8.9	11.7	10.7	9.0	9.8	9.8	8.9	10.2	125.8
患者数	166	267	94	164	71	82	61	344	61	67	77	140	1,593

5 病因物質別発生件数

2月に報告があったのはノロウイルス食中毒が3件、アニサキス食中毒が1件でした。ノロウイルス食中毒が落ち着いてきたような印象がありますが、最近の傾向として、ノロウイルス食中毒のピークは2月から3月となっています。

今回の報告に間に合わなかったノロウイルス食中毒が来月分に計上されるとかなりの数になるのではないかと推測します。

		令和8年（2026年）				令和7年（2025年）					
		2/1～2/28		累計(2/28まで)		2/1～2/28		累計(2/28まで)		累計(12/31まで)	
		件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)
ウイルス	ノロウイルス	3	44	13	229	20	368	24	414	47	814
	A群ロタウイルス							1	17	1	17
細菌	カンピロバクター			2	18	3	16	6	27	27	149
	黄色ブドウ球菌									2	57
	ウエルシュ菌			1	60	1	10	1	10	7	175
	セレウス菌							1	7	1	7
	サルモネラ									2	15
	腸管出血性大腸菌									3	15
	ボツリヌス菌										
	赤痢菌										
	カンピロバクター及びサルモネラ										
	寄生虫	アニサキス	1	1	2	2	2	2	5	5	41
クドア・セブテンpunkタータ											
化学物質	ヒスタミン			1	22						
	次亜塩素酸ナトリウム										
自然毒	植物性自然毒									2	3
	動物性自然毒										
不明										1	14
合計		4	45	19	331	26	396	38	480	134	1,308

6 原因施設別発生件数

ノロウイルス食中毒の原因施設は、3件全てが一般飲食店でした。アニサキス食中毒1件は原因施設不明となっていますが、被害者が様々なところで鮮魚を喫食している場合は、原因施設が特定できないこともあります。

		令和8年（2026年）				令和7年（2025年）					
		2/1～2/28		累計(2/28まで)		2/1～2/28		累計(2/28まで)		累計(12/31まで)	
		件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)
飲食店	一般	3	44	15	271	25	395	35	461	107	872
	仕出し									1	130
	そうざい										
	自動車										
集団給食	要許可							1	17	4	129
	届出			1	22						
魚介類販売業				1	1					3	3
そうざい製造業										1	52
菓子製造業				1	36						
家庭										1	5
臨時出店											
その他										3	27
不明		1	1	1	1	1	1	2	2	14	90
合計		4	45	19	331	26	396	38	480	134	1,308

(注)飲食店の「一般」には、一般飲食店、すし屋、弁当屋、そば屋を含む。

7 食中毒のことや発生状況についてもっと知りたい方は

(1) たべもの安全情報館 知って安心～トピックス～(東京都保健医療局)

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin//anshin_topics.html

(2) 東京都の食中毒発生状況

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin//tyuudoku/index.html>

(3) 全国の食中毒発生状況 (厚労省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/04.html

8 元食品衛生監視員のつぶやき

上記の(3)の全国の食中毒発生状況を見ると、2025年次の食中毒発生状況について3月2日までに厚生労働省に報告のあった事例が速報値で掲載されています。

確定値は、例年3月末に開催される、厚生科学審議会・食品衛生監視部会で報告されることになります。現在はまだ速報値ですが、今後それほど変化はないと考えられますので、昨年(2024年次)の発生状況をお示しします。

最初に、2025年と2024年の病因別発生件数と患者数の集計表を示します。

	2025年(速報値)			2024年		
	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数
ノロウイルス	462	18,566		276	8,656	
アニサキス	280	283		330	337	
カンピロバクター	221	1,265		208	1,199	
植物性自然毒	35	90	1	41	93	3
ウエルシュ菌	33	1,260		43	1,889	
サルモネラ属菌	26	748		21	384	
クドア	22	207		23	245	
黄色ブドウ球菌	15	305		21	610	
化学物質	14	433		10	137	
動物性自然毒	12	21		16	18	
腸管出血性大腸菌	10	362		16	124	
その他のウイルス	5	361		1	29	
セレウス菌	5	27		2	40	
その他の病原大腸菌	4	184		5	105	
その他の寄生虫	3	20		2	112	
腸炎ビブリオ	2	199	1	1	1	
ボツリヌス菌	1	1		1	4	
赤痢菌				1	12	
その他の細菌				1	1	
その他				4	36	
不明	24	520		14	197	
総計	1,174	24,852	2	1,037	14,229	3

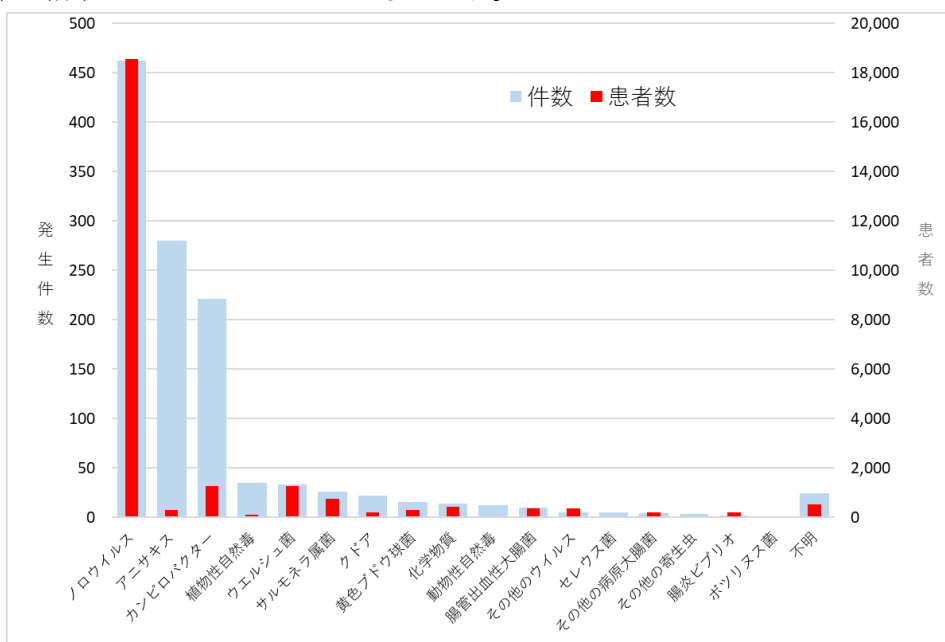
件数は、1割増し程度の増加でしたが、患者数は7割増しと大幅に増加しています。

これは、ノロウイルス食中毒が2倍以上になったことが影響しています。

そして、発生件数で昨年1位だったアニサキス食中毒が第2位となりました。

死者は2名で、イヌサフランの誤食によるものと腸炎ビブリオによる食中毒でした。

次に 2025 年の結果をグラフにしたものを示します。

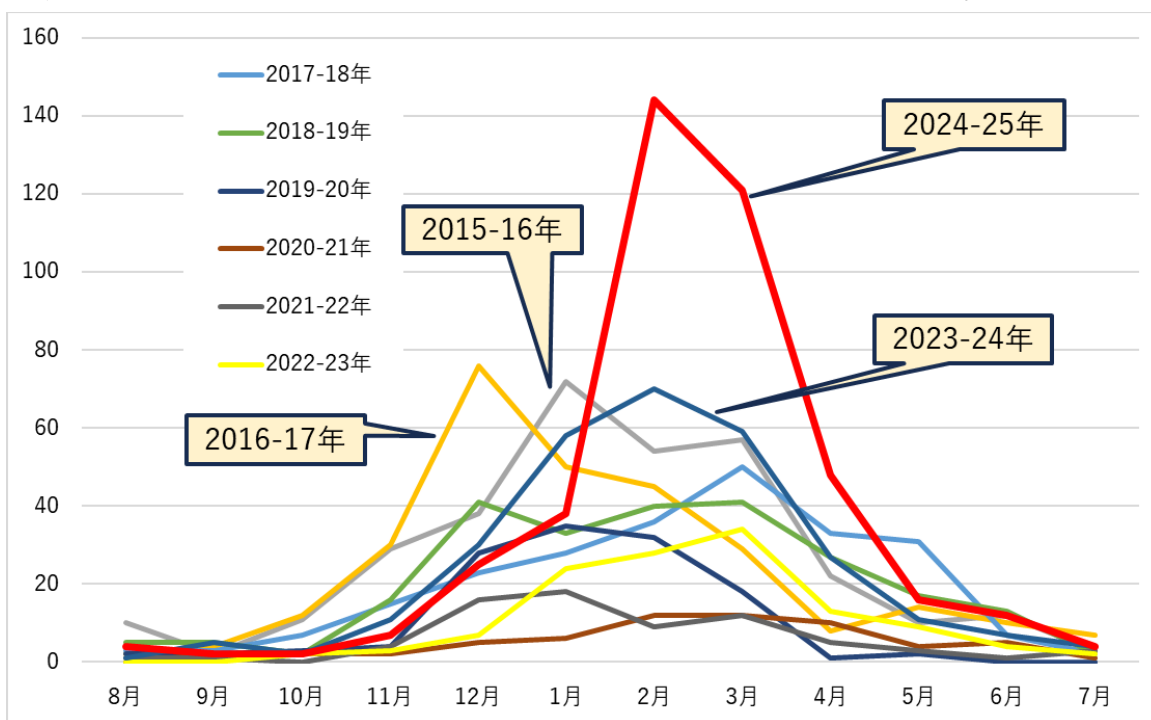


発生件数と患者数を示したのですが、特にノロウイルス食中毒の患者数が他を圧倒していることがわかります。

2025 年はノロウイルス食中毒の年だったわけですが、この傾向は 2026 年に入ってからも続いています。

ノロウイルス食中毒の月別の発生状況は、11 月頃から増え 4 月頃に収まるといわれています。このため、年次による食中毒統計では、発生シーズンが 2 年にまたがってしまい、そのシーズンの発生状況が分かりにくくなります。

そこで、8 月から翌年の 7 月にかけての発生件数をグラフにしたものを示します。



2015 年から 2016 年にまたがるシーズンから 10 シーズン分を示したものです。

これを見ても、2024年から2025年にかけてのシーズンがいにノロウイルス食中毒が多発したかわかります。

2025年から2026年のシーズンも多発状態が続いていますので、当分はノロウイルスに万全の対策を講じていただきたいと思います。